

性的少数者施策について

「誰ひとり取り残さない」まちづくりをめざして



性的少数者の半数以上が、国や地方自治体、企業の対応が必要だと回答

LGBT・性的少数者に対して、国や地方自治体の対応は必要だと思う 52.3%

LGBT・性的少数者に対して、企業の対応は必要だと思う 51.4%

2019年11月「LGBT意識行動調査2019」(LGBT総合研究所)

◆静岡市のこれまでの取組

- 1 性の多様性の理解促進
- 2 当事者の困難解消

◆静岡市のこれからの取組

- 1 令和3年度の事業計画
- 2 パートナーシップ制度の導入に向けて





静岡市のこれまでの取組

1 性の多様性の理解促進

- (1)市民への啓発
- (2)学校への啓発
- (3)企業への啓発
- (4)職員の理解促進

2 当事者の困難解消

- (1)電話相談&居場所づくり
- (2)にじいろ成人式

◆2030年のめざす姿

性の多様性への理解が進み、性のあり方に関わらず、一人ひとりの多様な生き方が尊重され(ダイバーシティ)、誰もが受け入れられ(インクルージョン)、自らの能力を発揮できる社会



1 性の多様性の理解促進

(1)市民への啓発



◆性の多様性啓発講演会(R2. 3) <動画配信中>

テーマ 性はグラデーション～多様な性をもっと身近に～

講師 遠藤まめた氏(LGBTユースのための居場所にじーず)

◆性の多様性啓発座談会(R2. 3) <記事公開中>

テーマ LGBTにやさしいまち
しずおかを考える

登壇者 当事者・教育・企業・地域の
代表4名

◆出前講座(R2. 6～)

概要 学校・企業・地域への啓発



座談会の様子



パートナー

丸井グループ、しずおかLGBTQ+、静岡大学、教育局(教育総務課)

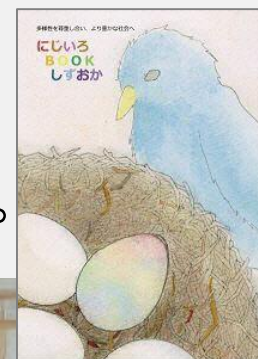
1 性の多様性の理解促進

(2)学校への啓発(高校生と協働)



◆にじいろBOOKしずおか(R2. 3)

概要 基礎知識、当事者の声、関係者インタビュー、相談窓口等を紹介。高校生と協働して制作し、地域や学校で活用。



<高校生の声>

- 「年配の人ほど性の多様性を知ってほしい」
- 「誰でも手に取りやすい絵を心がけたので、冊子を開いてみてほしい」
- 「学生服にも苦痛を感じている人がいると知った。制服を選びやすいようにしてほしい」



学習会&ワークショップ(R1. 11~R2. 1)



パートナー

しずおかLGBTQ+、静岡大学、教育局(清水桜が丘高校)

1 性の多様性の理解促進

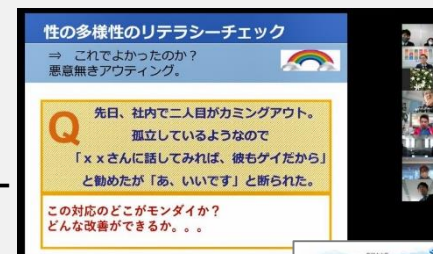
(3)企業への啓発



◆企業の価値を高めるLGBTQ実践セミナー(R2. 12~R3. 2)

概要 性の多様性を前提として企業における
制度やサービスを考える3回講座。

実績 延べ34人、満足度84%



実践セミナー
(Zoom風景)

◆雇用管理セミナー(R3. 2)

概要 公正な採用選考のための人事担当
者向けセミナー

実績 37社40人

R3企業ガイド
ライン作成



雇用管理
セミナー



パートナー

静岡商工会議所、県宅建協会、ハローワーク、経済局(商業労政課)

1 性の多様性の理解促進

(4) 職員の理解促進

◆ 職員研修

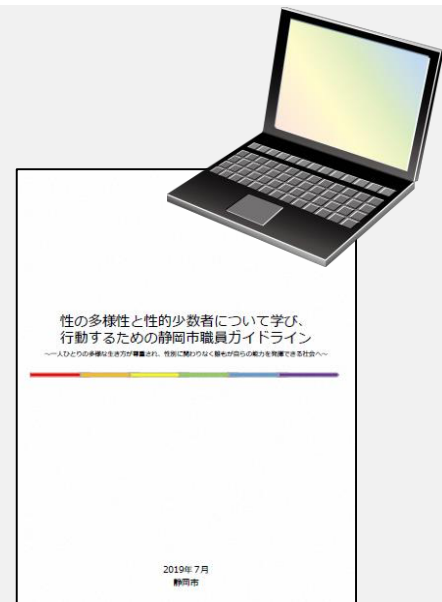
概要 毎年、所属長研修・窓口職員等の研修を実施。

◆ 性の多様性と性的少数者について学び、 行動するための静岡市職員ガイドライン(R1. 7)

概要 窓口対応・職場対応など業務の指針を作成。

◆ 性の多様性を前提とした施策の見直し(R2. 11)

概要 性別欄の見直し等に向けた庁内調査を実施。



ガイドラインはe-Net掲示板
NO. 13よりダウンロード可

2 当事者の困難解消

(1) 電話相談 & 居場所づくり



◆ にじいろ電話相談(毎月1回)

概要 本人のセクシュアリティや性別違和に関する相談。

◆ にじいろカフェ(毎月1回)

概要 当事者等の悩みや気持ちを共有する交流会。

実績 87人、満足度84%(R1)

<参加者の声(一部)>

- ・自分が自分らしくいられる場所。
- ・話せる人が周りにいないので救われる。

R3個別相談
スタート



レインボーフラッグに集まる参加者



パートナー

しずおかLGBTQ+、女性会館

2 当事者の困難解消

(2)にじいろ成人式



◆にじいろ成人式

日 程 令和3年1月10日(日)

内 容 LGBTQ当事者やそうかもしれない人が「なりたい自分になる」ための式典。

実 績 参加者26人、満足度95%

<参加者の声(一部)>

- ・前向きな人がたくさんいて、自分らしく生きていきたいと思った。
- ・自分を出せる場所があるのはとてもよい。

自治体主催
県内初！



集合写真(市長・3区キャラクターと一緒に)



パートナー

しずおかLGBTQ+、葵・駿河・清水区役所(各区地域総務課)



静岡市のこれからの取組

1 令和3年度の事業計画

2 パートナーシップ制度の導入に向けて

- (1) パートナーシップ制度とは
- (2) 全国及び静岡県内の動き
- (3) パートナーシップ制度利用者の声
- (4) 静岡市の動き





1 令和3年度の事業計画

1 性の多様性の理解促進

※赤字は新規事業

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| (1)市民への啓発 | 市政出前講座 「多様な性をもっと身近に～性の多様性とLGBTQ～」 |
| (2)学校への啓発 | 学校出前講座 |
| (3)企業への啓発 | 企業ヒアリング実施(7月～) 企業ガイドライン作成(7月～) |
| (4)職員の理解促進 | 職員ガイドライン改定 庁内関係課ヒアリング実施(9月～) |
| (5)実態把握 | 市民意識調査(6月～) 女性の労働実態調査(7月～) |

2 当事者の困難解消

- (1)電話相談・個別相談&居場所づくり事業
- (2)にじいろ成人式
- (3)パートナーシップ制度導入検討

(1) パートナーシップ制度とは

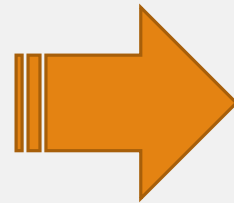


◆ パートナーシップ制度とは

お互いを人生のパートナーとして、日常生活において、経済的または物理的かつ精神的に相互に協力し合うことを約した関係にあることを首長が確認のうえ、パートナーシップ届を受理したことを証明するための証明書を交付する制度

◆ パートナーシップ制度導入の効果

- ・公認されたことによる安心感
- ・公営住宅への入居、民間賃貸住宅への入居
- ・病院における手術の同意、立会など
- ・保険の受取人、住宅ローン、スマートフォンなどの家族割



「LGBTQに
やさしい、
共生のまち」

(2)全国及び静岡県内の動き



平成27年度に東京都渋谷区と世田谷区が初めて導入

現在、110自治体が導入、

実施自治体人口は総人口の38.0%

(令和3年7月1日現在「同性パートナーシップ・ネット調べ」)

1,741組が利用

(令和3年3月31日現在「渋谷区・虹色ダイバーシティ調査」)

政令市20市のうち、導入していないのは**静岡市を含め4市のみ**

県内では令和2年4月から**浜松市**、令和3年4月から**富士市**が導入
島田市が年内導入をめざし、**藤枝市**が導入検討を令和3年6月議会で表明、**静岡県**でも導入検討の動きがある

(3) パートナーシップ制度利用者の声



○宣誓をしようと思った理由は

関係性を証明したいため	79.5%
安心感につながる・絆を深めるため	12.8%

○宣誓をしてよかったと思うこと

- ・パートナーとの精神的な結びつきが強まったように感じる
- ・気持ちの面で、安心することが多くなった
- ・自治体に公的に認められることで、社会生活に参画する気持ちが高まった
- ・周りから入籍同様祝福された
- ・証明書を見せることで、2人の関係性を信頼されるようになった
- ・証明書があることで、パートナーとの関係性を細々説明しなくて済む

(千葉県パートナーシップ宣誓制度宣誓者アンケート)

2 パートナーシップ制度の導入に向けて

(4) 静岡市の動き

R3市民意識調査

「制度の創設に賛成」79.6%。



☆パートナーシップ制度を望む市民の声

静岡市女性の会連絡会「市長と語る会」

- ・要望あり（平成28年11月、令和元年10月、令和2年10月）

静岡市性的少数者ヒアリング2018

- ・いち早く制度を導入してほしい
- ・制度があることで、性的少数者への理解が広まる

NPO法人しずおかLGBTQ+

- ・「共生社会の実現に向けた性の多様性に関する要望書」(平成31年1月)

その他

- ・毎月開催している「にじいろカフェ」でも制度導入を求める要望あり

☆ 議会・審議会からは

市議会

- ・平成28年9月議会以降、パートナーシップ制度に関する質問が6回出ている

男女共同参画審議会

- ・答申「パートナーシップ制度等の当事者のニーズに沿った施策の実現に向け、調査研究が進められることを期待します」(平成30年10月)

市長

- ・平成31年2月議会施政方針演説「LGBTの皆さんに優しい共生のまちづくりを進めていきます」

平成30年10月の審議会からの答申も踏まえ、市ではこれまで、パートナーシップ制度の調査研究と導入に向けた環境整備を行ってきた。

今後は、審議会委員の皆様からもご意見をいただき、より利用しやすい制度を構築していきたい。